

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩 心 会 発行

12年3月現在 返葉大(合)	3月現在 地区区計	会員数 131名 187名 31名 349名	12年3月 (332号)	発行者 千 葉 岳 関	編集者 白 井 岳 麗
-------------------	--------------	------------------------------------	--------------	-------------	-------------

行事予定

○第22回碩心会吟道温習会

日時・平成12年6月18日(日)

9時30分～16時30分

会場・返子図書館ホール3階

申込み・4月25日

内容 ①会員吟詠

②許証授与

③連吟コンクール

④会員吟詠

⑤立体吟(詩舞)

⑥師範位吟詠

⑦役員吟詠

連吟コンクール要領について

○一支部一チーム以上出吟願います。

○連吟コンクールは別枠。

○一チーム二名、出吟資格九段までの会員

○課題吟は左記四題、三行詩

一行と二行目はそれぞれ一人づつ吟じ、

三行目は合吟となります。

1 天草洋に泊す (1-66)

2 炊煙起る (5-43)

3 烏夜啼 (5-105)

4 笛を聞く (4-27)

会員の皆様多数ご出席お願い致します。

お弁当、お茶付き 600円

各支部ごとにまとめ、会費と共に地区長を

通じて企画部まで。

当日はネームプレートを必ず着けて下さい。

師範認許 (12年2月6日付)

白 井 岳 麗

会員活動状況

第6回全国優秀吟者吟詠大会

会場・明治神宮会館

日時・3月12日(日)

総本部よりの依頼により左記の3名が当

日役員としてお手伝いしました。

立澤御岳、松井正岳、根岸啓岳

○2月号にてお知らせしました第111回全国大

会の会費が左記の通り決定いたしました。

全行程 10万円 (3泊4日)

森戸神社境内碑前で朗詠

堀内D 中村 岳 愛

3月9日(木)は私達堀内支部D班の稽古日。立春も過ぎ、寒さも少しづつ遠のいたこの日野外稽古を企画し午前10時森戸神社集合。神社に参拝をすませ、境内の海の見える場所へ。この日西風が少し強く心配だったが、このよな日はくつきりと風景が望め、見事な紺碧の海に白いさざ波が模様を織りなし、中央に富士、左に箱根の連山、更に伊豆半島、そして江ノ島、七里ヶ浜、目の前には名島の朱色の鳥居、裕次郎灯台等が望め、まさに絶景。私達が立つこの辺りは、昔は名島まで岩原がつづき、源頼朝の別館があつて、今でも柱の穴が残っていて、御殿ヶ原と呼ばれている。そして境内には数多くの碑が建立されている。そして境内には数多くの碑が建立されている。有名になった「石原裕次郎の碑」、又森戸の夕照が選ばれた「景勝神奈川五十選の碑」、又明治20年頃、一寒村にすぎなかつた葉山を訪れ、風光明媚、氣候温暖が気に入り、自らも葉山に別荘を建てて天下に葉山を宣伝した「ドイツのバルツ博士、イタリーのマルチー

ノ公使顕彰碑」等々が建ち並びます。

そして明治22年には横須賀線が開通し、葉山に益々別荘が建ちはじめ、明治27年には、葉山御用邸が竣工しました。そして大正天皇は葉山をこよなく愛され、付属邸に於て崩御されました。昭和天皇は葉山で踐祚の儀を挙げられました。昭和三十九年11月3日に、「今上踐祚五十年の碑」が建立され、それと同時に、葉山を詠まれた「明治天皇御製・昭憲皇太后御歌の碑」が建立され、その日私達葉山の吟友有志は、碑前に於て声高らかに朗詠の栄に浴したのであります。

明治天皇御製・海邊雪

波のうへに富士のねみえて呉竹の

葉山の浦の雪はれにけり

昭憲皇太后御歌・里神楽

呉竹の葉山の宮にきこゆるや

森戸あたりの神楽なるらむ

D班一同は、改めて碑前で朗詠をすませ、次に三島明神から飛来した種を、源頼朝が植え、今は樹齢80年位ともいう「飛柏棋」の木をまのあたりにみて歴史を感じ、有意義なひとときを過ごし、会食の後解散しました。

辞めないでよかつた吟の道

唐木山 寺脇 宇 岳

春は遅く待遠しいと思う此の頃です。

今から四年程前に、私は大病で長い間入院しましたので、その病み上りの時に詩吟はもう辞めようと思いました。

唐木山の広瀬晴岳支部長に退会届を出してくるように、再々お願いしましたがなかなか応じて貰えませんでした。

次には杉山岳雪教務部長にご連絡したところ、先生は時間をかけて「絶対に癒るから辞めては駄目です」と諭され、それほど言つて下さるのなら辞めてはいけないんだなと思いとどまり、前向きに行く決心をしました。

でもまだ詩吟をやる気は出ないでいる時にいつも私を支えてくれる佐久間岳爽さんが見えて、「指導者講習会で舟艇守の尺八を練習したので一緒にやってみましょう」と促がされて合吟して頂き、吟じ終ると頭がハッキリしていました。人の支えの大事さをつくづく思いました。

最近のことですが私が病気をする前に入会していた方が見えて「今日食事会があります

ので行きましよう」と車に乗せて連れて行ってくれました。

十人位の集まりで楽しいひとときを過ごし、私も名槍日本号を吟じました。帰り際に或る方が「詩吟をやりたい」と言って入会して下さいました。そして二カ月ほど後に二人の方を誘って来られ、その中の一人がまた友達を連れて来て下さいました。今月は近所の方が入会し、新しい方ばかり六名になって唐木山支部は現在十名になりました。

これで私も病気を気にしなくなりました。杉山先生の言われた通りだと嬉しさが増しました。歳月は人を変えれると思います。

支援して下さい下さった皆様様に紙上をお借りし御礼申し上げます。

まだ私には支えが必要ですから今後とも、どうぞよろしく願っています。

草萌ゆる吾も炎ゆなり吟の道 宇岳

十段の昇段審査を終って

滝の坂支部 加藤 溪 岳

昭和50年に入会し、長い道のりではありませんでしたが、二月に漸く十段の昇段審査を受ける

ことができました。

これも毎週丁寧に指導して下さいました先生、そして教室の皆さんの後押しのおかげと感謝致しております。久しぶりに味わった心地よい緊張感も、これが最後と思うと少し寂しい気もします。

さて審査に臨んで気の付いたことを書いてみたいと思います。私も九段迄は課題吟を全て勉強し、暗記して審査を受けたと記憶しております。それが四年程前から自分の好きな吟を選んで受審できるように、少しゆるやかにになりました。

しかし高段者として受審する以上、課題吟を全て勉強することが必要ではないでしょうか。勿論審査は当日吟ずる課題吟が分かっていたほうが吟じ易いので、これは是非続けて欲しいと思います。

そこで次に受審するまでの一年〜三年で課題吟をじっくり勉強し、審査前のノミネートの時点で教室を通じて本人に改めて当日の課題を指示して下さい、最終的にこれを暗記して審査に臨んだら如何でしょうか。

十段の審査を終えて

堀内B 白 井 照 岳

2月19日(土)に高段者審査が、平塚農業会館にて行われました。当日は寒い季節にもかかわらず晴天に恵まれて幸いでした。今回は私にとつて最後の審査になりましたが、高齢者になりましたので書取は免除、教本は暗記せずに見てもよろしいとのことで、非常に気楽に……？受審出来ました。

講習で教えて頂いたことを忠実に練習し、むずかしい韻読、新体詩等々査定ならではの勉強をさせて頂き良かったと思います。

今後は、あこがれていた美しい漢詩の世界を楽しみつつ勉強して行こうと思います。

私の場合は、「はじめに詩舞ありき」でした。「詩舞を習って詩の心を知らないでは、良い表現が出来ない」からと小林紫舟先生のおすすしめがあり、三井先生に教えを受けて、詩吟のよろこびに目覚めたというべきでしょうか。多くの先輩の方々にお世話になりました。皆様の御指導に感謝しております。

今は亡き千葉佳香先生が、前の方々の高音に影響されることなく、いつも御自分の音程

で、きちんと吟題より吟じられたこと等、良い勉強になったことが思い出されます。

過去に家庭の事情で五年位休んだこともありましたが。又一昨年も一年程休み決して良い生徒ではありませんでした。

反省と共に、これからは肩の力を抜いて、楽しみながら、続けてまいります。

皆様の後から、杖をつき、つまずきつつもついて行きたいものと思っております。

これからも先生方の御指導をよろしくお願い申し上げます。

八十代のお教室

桜山支部 石月 翹岳

『人生未完来』いつまでも勉強のようですね。明るくい日差しの増す日々でございます。

濃厚なる三井岳隴先生に変わり鈴木岳抄先生をお迎えいたしました。桜山支部の温かな80代のお教室です。何時の間にかと思う程、年を戴き、幾年かの吟の道を経てまいりました。

岳抄先生は大変なる美声で、しかも詩情、品格を保ち吟じておられます。私達も少しでも近づけることができますように真剣にお勉強いたしております。総伝位の荒木岳笙さま、

十段位の猪又房岳さま、坂田昇岳さまと石月翹岳それぞれがおばあちゃま。長い間の査定を越えてのきびしい日々であったと思えます。お陰様にて段位に誇りを持ちながらお教室を大事にしております。

平成11年秋に中島萬里子さまも入会され、チャーミングな大輪の花が咲いたようです。

熱心な方でお教室が明るくなりました。益々向上心をもって頑張りたいと思えます。

『生ける者、遂に死する者になれば、この世なる間は楽しくあらん』

どうぞ皆様も吟のお土産を持って、お遊びにおいで下さるようお待ち申し上げます。

◆NHKウイクリーステラの記事より◆

おいしく食べて血液サラサラの玉葱、料理は涙が出るほど辛い成分が血液をサラサラにし、血液の流れを邪魔する血栓（血小板の固まり）の量が減るそうです。

ただし水にさらしたり、スライスしてすぐ加熱すると駄目で、切ってから15分置いて調理すること。時間をおいて炒めたものには、血液サラサラの効果があるそうです。

玉葱100gの中に8gの糖分があり、苺と同

じ甘さ、20分も炒めると4倍にもなるそうです。玉葱料理を活用して血液の流れを良くしましょう。

入会

516 島 光子 シマ ミツコ 逗子市小坪二一七―十二

(逗子B) ☎〇四六七―二三―二八七六

517 藤松四一 フジマツ シツイ 横須賀市武三―三九―二

(吟 秀) あつとホーム

518 齊藤裕美 サイトウ ヒロミ 横須賀市富士見町一―五三

(吟 甫) ☎〇四六八―二五―八二七一

519 伊藤泰子 イトウ タイコ 三浦郡葉山町一色一―〇〇

(堀内D) ☎〇四六八―七五―二四〇八

退会

511 野沢 宏 (逗子B)

編集後記

「出会い」好きな言葉の一つです。原稿をまとめながら思うことは、それぞれのお人柄が文章の中に滲み出ているので、それを飾ることなく、そのまま伝えることを大切にしています。それも原稿を通しての素敵な出会いであり、毎月編集を楽しみにさせていただいております。お便りをお寄せ下さい。